

6 群・心理系の入試問題の出題意図

心理学（神経・生理、感覚・知覚、認知、学習・記憶、言語・思考、心理統計）および脳科学等の関連分野における学修と研究に必要な能力を総合的に評価することを目的として出題している。具体的には、以下の三つの観点を重視している。

・基礎知識および重要概念の理解の評価

心理学（神経・生理、感覚・知覚、認知、学習・記憶、言語・思考、心理統計）および脳科学等の関連分野に関する基本的な知識や理論、重要概念の理解度を測る問題を出題する。大学院レベルでの高度な学修や研究を進める上で不可欠な基礎力を評価する。

・論理的・批判的思考力の評価

上記の研究分野に関する研究知見を分析的かつ総合的に解釈し、論じる能力を問う問題を設けている。これにより、既存の研究知見を適切に整理し、新たな視点から考察する論理的思考力および批判的思考力を評価する。

・問題発見能力および創造性の評価

大学院において研究を立案・遂行するためには、未解決の課題を見出し、新たな研究テーマを創出する能力が求められる。そのような問題発見能力や創造性を総合的に測る問題を出題し、研究者としての資質を評価する。

6 群・哲学系の入試問題の出題意図

人間、世界、論理にかかわる哲学の学修と研究に必要な能力を総合的に評価することを目的として出題している。具体的には、以下の二つの観点を重視している。

・基礎知識および重要概念の理解の評価

古代から現代までの哲学・倫理思想の歴史ならびに論理学に関する基礎知識や重要概念の理解度を測る問題を出題する。これにより、大学院レベルでの高度な学修や研究を進める上で不可欠な基礎力を評価する。

・各自の問題意識と論理的、批判的思考力の評価

上記の基礎知識や重要概念をいかに論じるかという点で、各自の問題意識と論理的、批判的思考力が明らかとなるように出題している。これにより、既存の研究知見を踏まえつつ新たな視点から問題事象にアプローチできる柔軟性と創造性を評価する。
